

—平和と癒しの重要拠点—



【計画背景】

かつては重要な軍事拠点として建設された海軍壕、現在では戦争の悲惨さと平和への願いを世界に広めるための戦跡公園として整備され、交流や憩いの場として様々な人達に親しまれる施設となり、今では平和学習の重要拠点となっています。

その公園内でも高台に位置し施設全体を一望できる展望台、まさに海軍壕公園の司令塔ともいべき施設の老朽化に伴う解体、今回の提案ではその司令塔の再生と、これまで以上に海軍壕公園の象徴ともなれる様、利用者に愛され癒しを与えられる展望・休憩施設を提案します。

【コンセプト】

公園内施設のビクターセンター・資料館の展示や実際の壕に入ることによって当時の空気を肌で感じた後などに、心と体を休める憩いの場となる休憩エリア、そして展望エリアからは海軍壕公園全体、さらにその先に広がる町並みを見る事で平和の尊さと今この風景を見る事ができる幸せを感じられる、そんな空間となる様提案・計画を行います。



【配置計画】

展望エリアからは、火の柱や北遊び広場、西遊び広場などが一望でき夕方には沈む夕日を眺める事が出来ます。東側の休憩エリアでは、歩き疲れた体を癒すためのベンチを設置し家族や仲間との団らんを楽しんだりすることができます。展望エリアと休憩エリアの間にある壁で強い西日を和らげています。休憩エリアからもお祭り広場や慰霊の広場などを眺めることができ、展望エリアのみならず休憩しながらでも景色を一望でき、自分のお気に入りのスポットで癒しの時を過ごすことができます。



-配置図-



【バリアフリーへの配慮】

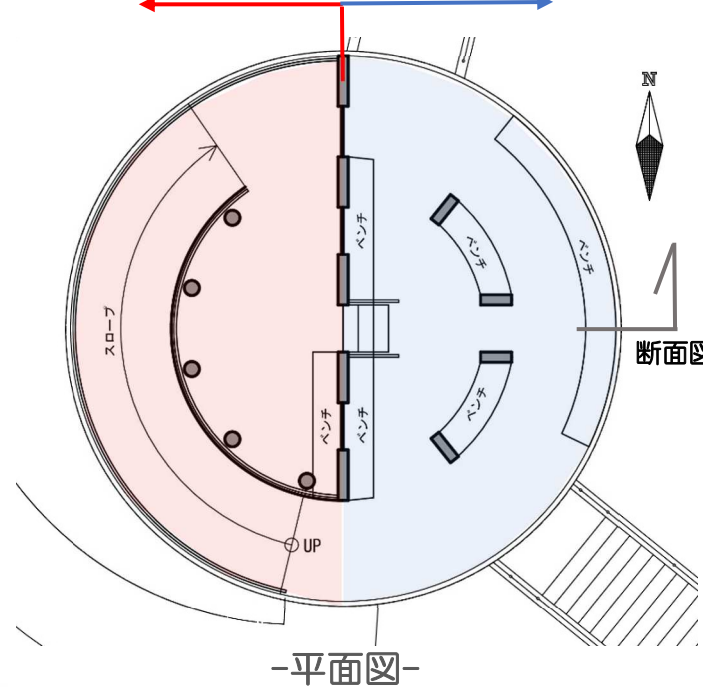
展望エリアへ上がる通路は緩やかなスロープとし高齢者・足の不自由な利用者でも難なく施設の利用ができる計画としています。

【景観への配慮】

低い位置となる計画地周辺から眺めた時に、空と調和するような白色系とし、最高高さも慰霊の塔と同程度の高さまでの計画とすることで景観を損なわない周辺環境との調和のとれた計画とします。



展望エリア 休憩エリア



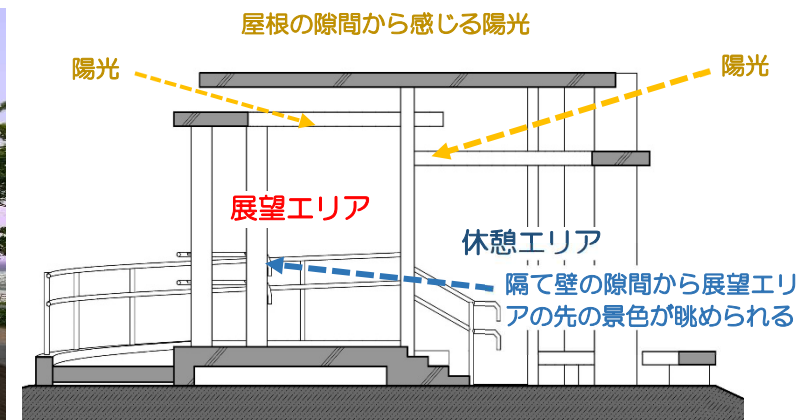
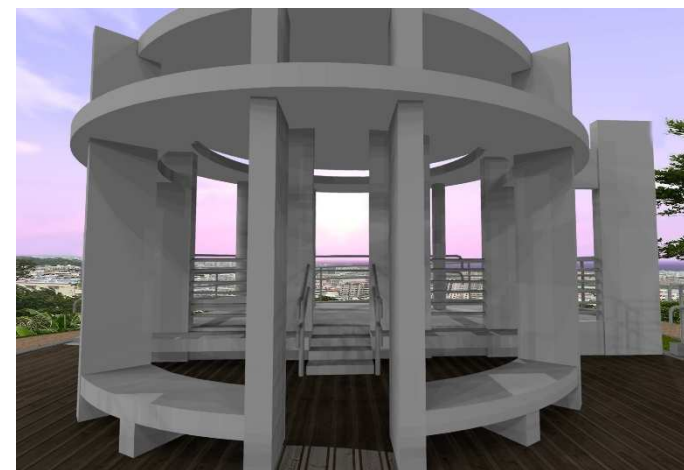
-平面図-

【平面計画】

東西で展望エリア・休憩エリアで分ける事で明確な区域分けを行っておりそれぞれの楽しみ方を堪能できるように計画しています。

展望エリア・休憩エリアの間はRC造の壁で遮り中央部分の階段で行き来ができる計画としています。階段以外の隔て壁の隙間には手摺兼用の柵を設置し互いの視界を遮らずに区分けを行っています。

展望エリア内でも高齢者等配慮の為一部ベンチを計画し、休みながらも展望エリアからの景色を堪能できる計画としています。



-断面図-

【断面計画】

展望エリアは休憩エリアよりも500mm程度高い位置に計画し、休憩エリアから見る景色とはまた違った見え方とすることで多彩な表情の景色を眺められる計画としています。

屋根形状は三層構成とし、最上部を円形、下部2層は上部円形をくり抜いた形としており、屋根同士の間隙から光がこぼれる落ちる計画としています。

【構造計画】

構造は鉄筋コンクリート造とすることで経年劣化による老朽化に対する耐久性向上をはかり、維持管理のしやすさにも配慮した計画とします。